

Library Information

図書室からのお知らせ

■本の入荷について

図書室では、毎週新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などがありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

- 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447(内線331)

足袋製造老舗のものづくりへの情熱

池井戸 潤著 / 『陸王』



集英社

小説

老舗足袋業者「こはぜ屋」の四代目社長・宮沢は、会社存続のために足袋製造の技術を生かしたランニングシューズの開発を思い立つ。従業員20人の零細企業が、チームワークやものづくりへの情熱、そして仲間との熱い結びつきで難局に立ち向かっていく。真っ正直にコツコツと積み上げていくことの尊さに、胸を打たれる1冊です。

ぼんたが体験する初めてのお月見

かとう まふみ作 / 『まんまるいけのおつきみ』



講談社

児童書

小高い丘のてっぺんのまんまるいけの底深く、なまずのぼんたがおりました。かめのおじいさんからお月見の話をきいて、ぼんたは興味しんしん。でも、池には不思議な言い伝えがあって…。みんなで楽しく読める季節の行事絵本です。お月見団子を作るシーンや月の満ち欠けも描かれていて、読み聞かせにもおすすめです。

心あたたまる熊本弁の詩と写真集

西本 喜美子著 / 『ひとりじゃなかよ』



飛鳥出版

一般書

72歳で初めてカメラを触った。カメラさえ持っていれば、世界は無限に広がっていくという現在88歳のおばあちゃんの心温まる熊本弁の詩と、幻想的な写真の数々を収録した写真集。特にセルフポートレートは、思わず噴き出してしまふほど楽しい作品ばかりで、テレビなどでも紹介されています。写真を見ると不思議と元気が湧いてきます。

簡単に日持ちもする漬け物レシピ

岩崎 啓子著 / 『漬けるだけでごちそう!』



辰巳出版

教養・娯楽

ほっとくだけで手間いらず。漬けるだけで味が決まる。時短、日持ちがする、味付けが簡単など、いいことずくめの漬けっぱなし調理法です。火を通す前に漬ける、火を通した後に漬ける、生でタレ汁に漬けるだけのレシピなど、漬け汁(タレ汁)ごとに分かりやすく紹介してあります。誰でも、失敗なく、見栄えよく作れるレシピ集です。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

まず、題名から読めません。姑獲鳥は「うぶめ」と読みますが、読めたところで意味が分かりません。本書の冒頭で、その絵と説明が示されていますが、それを読んだところで、何なのかはよく分かりません。

本書は、直木賞作家、京極夏彦のデビュー作で、その後次々と出版されたいわゆる京極堂シリーズの第一作目です。私が京極

今月の案内人



村上 修司さん
(緑町区)

極作品に初めて触れたのは、第四作の「鉄鼠の檻」でした。ノベルズでありながら、そのあまりにも

～ My Favorite Story ～

Read This Story!

私のおすすめ図書

『姑獲鳥の夏』(京極 夏彦著)

古本屋にして陰陽師(おんみょうじ)が憑物を落とし事件を解きほぐす人気シリーズ第1弾。文士や探偵らの推理を超え噂は意外な結末へと突き進む。

分厚過ぎる外観と意味の分からない題名(姑獲鳥の夏も同じ)に興味を覚え手に取りましたが、以後、このシリーズが愛読書となりました。

さて、この姑獲鳥の夏ですが、簡単に言うと古書店主であり神主でもあるところの中禅寺秋彦(京極堂)が、友人の関口氏が持ち込んだ、20か月もの間子どもを身籠っている娘がいるという摩訶不思議な事件を解決して



いくというストーリーです。練り込まれたストーリー、個性際立つキャラクターや時代的な描写の素晴らしさはもとより、このシリーズ最大の特長は、何はともあれ、京極堂を通して語られる蘊蓄(うんちく)の量です。読み終わると何だか博識になった気が。活字に飢えている方もそうでない方も一度お試しを。

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

▶ワーキング世代の講座案内 ネイルケア・カラー教室

つめのお手入れ（やすりの使い方、甘皮のお手入れなど）を中心に、健康で美しい指先の作り方を学びます。カラーの塗り方も学習できる女子力アップの講座です。

- 開催日時
9月10日（土）午前10時～正午
- 会場
町農業研修センター「ろくじ館」研修室
- 講師
上村さつきさん
- 参加費
無料
- 定員
10人（定員になり次第、応募を締め切ります）
- 準備するもの
タオル
- お申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会公民館事務局
☎096-234-2447（内線321）

◀出前講座・和田内区 「フラダンス」

8月10日（水）和田内公民館で、出前講座「フラダンス」を開催しました。老人クラブ「和田内年輪会」の福永和彦会長のあいさつの後、公民館自主講座の「ポハイケアロハ・フラ



▲フラダンスの曲に合わせて手拍子をして楽しむ参加者たち

「ミナミ」のメンバーが、フラダンスをはじめ、日舞や小話、歌などを披露。参加者は、暑さを忘れ手拍子し

たり一緒に合唱したりして楽しみました。

講座終了後、参加者は「皆さんのおかげで久しぶりに笑顔になり、元気をいただきました」と話しました。

8月17日（水）町生涯学

◀自主講座「子ども講座」 「ストロー工作」に挑戦

習センターで、子ども講座「ストロー工作」を開催しました。

参加者の子どもたち15人は、ストローと紙コップを使ってストローの特性を活かした首の伸びる人形作り

しました。その後、それぞれ好みのキャラクターや動物の顔を紙コップに描き仕上げまし



▲好きなキャラクターを描いて人形を作った子どもたち

た。また、簡単にできて良く飛ぶ「空飛ぶリング」を作り、遠く高く飛ばして遊びました。

参加した子どもたちは、「首がスムーズに動くようにするのが難しかったです」と話し、夏休みの工作を楽しみました。

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

7月26日（火）学校人権教育部会課題別研修会を甲佐小で開催

7月26日（火）、甲佐小学校で学校人権教育部会課題別研修会が開催されました。

同研修会は、同和問題をはじめとしたあらゆる人権問題の解決に向けてすべての町教職員の基本的認識を深めるとともに、就学前から高等学校までの連携を深めて人権教育の充実と発展に努めることを目的として、甲佐町学校人権教育部会（上杉奈緒子会長）が開催。例年講演会と4つの分科会で実施していますが、今年



▲甲佐小で行われた研修会の分科会でレポート報告を聞く参加者たち

度は熊本地震の影響により2つの分科会で実施し、町内の保育園の保育士や学校の教職員など84人が参加しました。

第1分科会は、「いのちとくらし」、

「共生の教育」を、第2分科会は「自主活動」、「子ども会」をテーマにした各々2本のレポート報告を基に討議。参加者同士で意見を出し合い連携を深めました。

- 人権に関するお問い合わせ先
町教育委員会社会教育課
☎096-234-2447（内線324）